



8月21日は献血の日！過去と現在の献血事情

8月21日は「献血の日」です。1964年のこの日、「輸血用血液を献血で確保する体制」を整えることが閣議決定され、現在の献血制度の基礎が築かれました。それ以前は売血が主流で、輸血に適さない血液や健康被害が社会問題となっていました。その後献血への移行が進み、1969年には輸血用血液のすべてを献血でまかなえるようになりました。



現在も血液不足は大きな問題にはなっていませんが、赤血球製剤は約21日、血小板製剤は約4日と有効期限が短い。ため、安定した供給には毎日の献血が欠かせません。さらに、少子高齢化により今後は献血者不足が懸念される「2027年問題」も課題となっています。

献血に参加してみませんか？

東海北陸の献血会場では、献血未経験者向けの記念品プレゼントキャンペーンが開催されています。また、献血ルームや献血バスは予約も可能です。お菓子や飲み物のサービス、DVDや漫画を楽しむ施設もあり、気軽に利用できます。この機会に、誰かの命を支える献血に参加してみませんか。



同じアカウントのまま「Gmail アドレス」が変更可能に！

これまでGmail (@gmail.com)は、一度作成すると後からメールアドレスを変更できず、変更したい場合はGoogle アカウントを新しく作成する必要がありました。しかし、新たに同じGoogle アカウントを維持したまま、@gmail.comのユーザー名部分を変更できる機能が追加されました。

変更しても「古いアドレス」はそのまま使える！

新しいアドレスを設定しても、古いアドレスは自動的に「エイリアス(予備のメールアドレス)」として残るため、新旧どちら宛てのメールも同じ受信トレイで受信できます。また、YouTubeの視聴履歴やGoogle Playの購入履歴など、Googleサービスのデータはそのまま引き継がれ、ログインも新旧どちらのアドレスで行えます。

知っておきたい制限事項と注意点

大変便利な機能ですが、ルールや制限事項があります。

- 変更は「12カ月に1回」、通算3回まで
- 古いアドレスは削除不可

(完全に消したい場合はアカウント自体の削除が必要です)

アドレス変更後は一部のアプリや「Googleでログイン」を利用しているサービスで設定の確認や再認証が必要になる場合もあるため、事前のバックアップがおすすめです。

変更の手順と確認方法

この機能はすべてのユーザーへ段階的に提供されるため、アカウントによってはまだ利用できない場合があります。ご自身のアカウントが対応しているかは、以下の手順で確認・変更が可能です。

- ① Googleアカウントの管理画面(個人情報)を開きます。
- ② 「メール」から「Googleアカウントのメールアドレス」を選択します。
- ③ パスワード認証後、「Googleアカウントのメールアドレスの変更」が表示されていれば、画面の案内に従って新しいアドレスを設定できます。

ライフステージの変化など、状況に応じて柔軟にメールアドレスを見直してみてもいいかもしれません。

★ チラシ・フライヤー・会社案内・名刺など
デザイン制作・印刷 お任せ下さい！

★ ホームページ制作お任せ下さい！！
オリジナルデザインで更新しやすいホームページを！
今あるホームページの編集作業もお任せ！！

◎ パソコン本体・周辺機器のご購入やパソコントラブル
ご相談下さい！

◎ パソコン教室 無料体験実施中！



株式会社 マデコム



〒510-8122 三重県三重郡川越町豊田 659-1
TEL : 059-366-0888 FAX : 059-366-0877
E-Mail : office@madecom.co.jp
URL : https://www.madecom.co.jp
発行 : 2026年8月1日 編集・作成 : 早川尚孝